

府中都市計画道路3・2・2の2号線及 び国立都市計画道路3・3・2号線 (府中市西原町一丁目～国立市谷保)

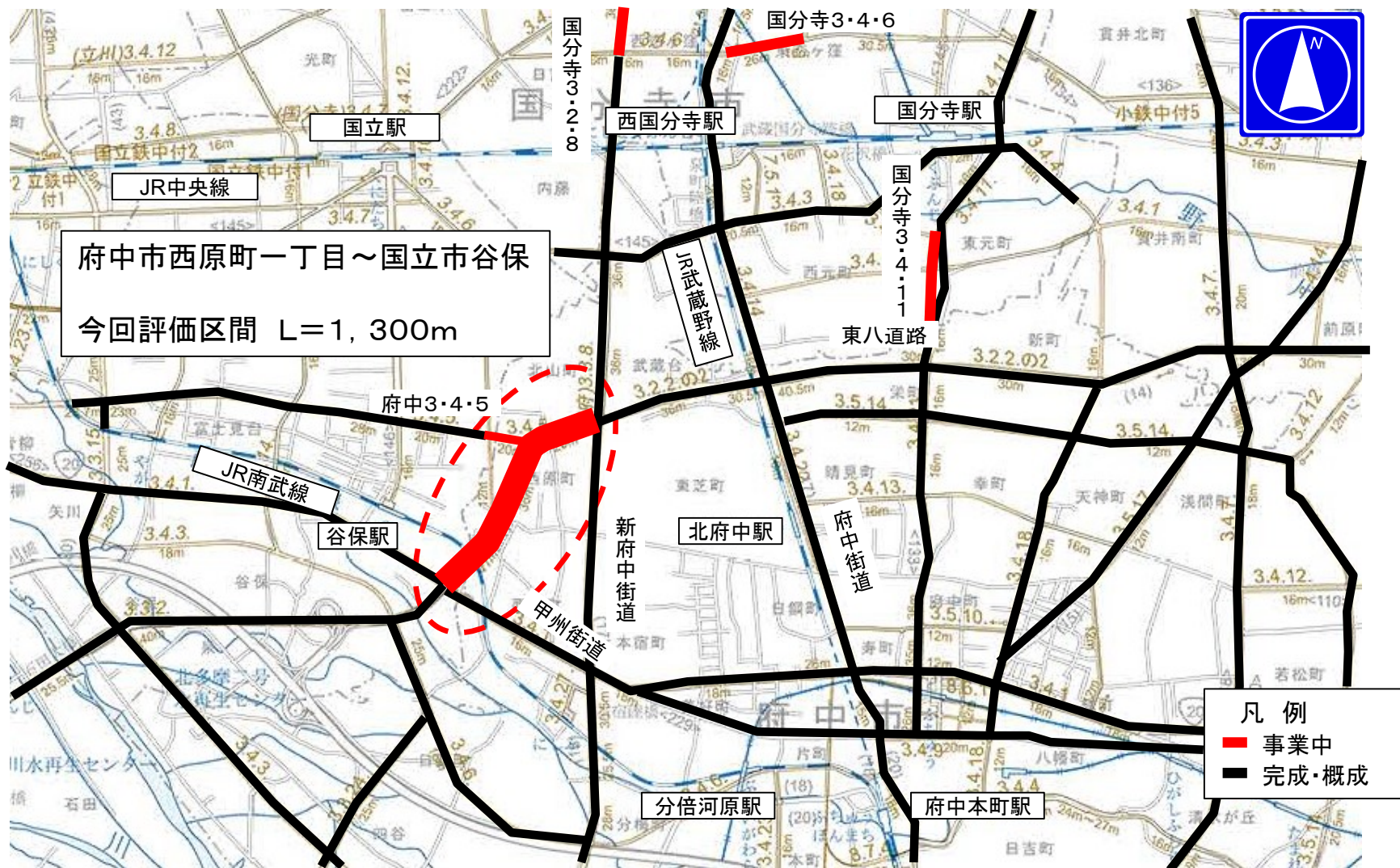
令和2年6月22日(月)
建設局道路建設部

目 次

1. 事業概要		1
2. 社会経済情勢等の変化		7
3. 事業の投資効果		9
4. 事業の進捗状況		14
5. 事業の進捗の見込み		17
6. コスト縮減等		18
7. 対応方針(原案)		19

1. 事業概要

位置図



1. 事業概要

事業期間

平成23年度～令和7年度

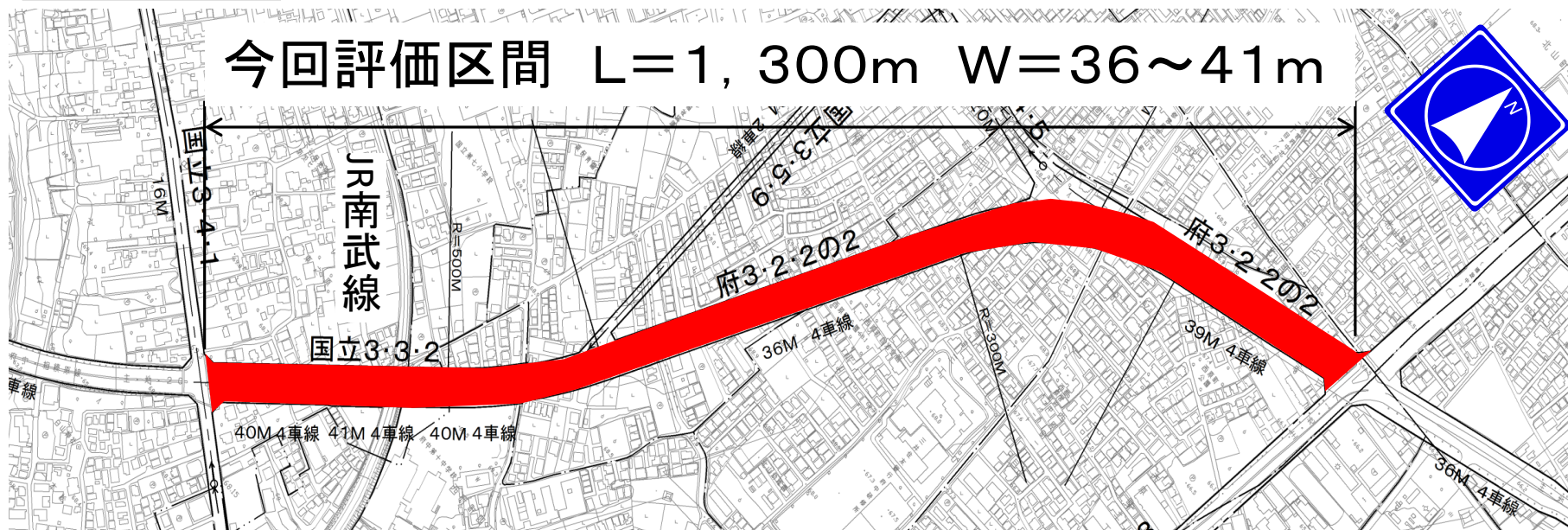
事業の概要

本路線は、区部の放射第5号線と一体となって多摩地域と区部の連携を強化するとともに、甲州街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和等に寄与する重要な路線である。また、周辺が主に住宅地であることから、沿道環境に配慮し、幅員10mの環境施設帯を車道の両側に配置することにより、みどり豊かな植樹帯と快適な歩行者空間を形成する。

1. 事業概要

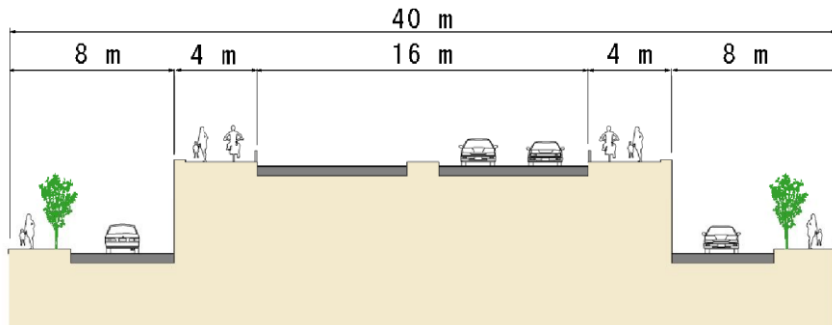
平面図

今回評価区間 $L=1,300\text{m}$ $W=36\sim41\text{m}$

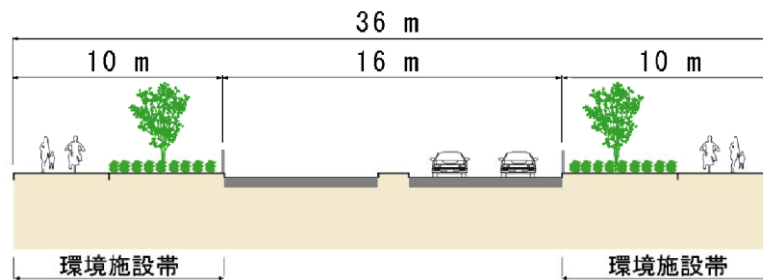


横断図

側道部横断図



標準横断図



1. 事業概要



1. 事業概要

経緯

年 度	計画等
昭和37年7月26日	都市計画決定
平成22年12月17日	環境影響評価書公示 都市計画変更 (幅員28m～36m→36m～41m)
平成23年7月5日	事業認可取得
令和8年3月31日	事業認可期間

2. 社会経済情勢等の変化

関連する他事業等の進捗状況の変化

東京八王子線の起点となる**三鷹3・2・2号線**と**放射第5号線**が令和元年度に**交通開放**された。また、本路線と交差する新府中街道のうち**国分寺3・2・8号線**が平成28年度に一部**交通開放**された。



3. 事業の投資効果

定量的効果

【便益(B)の算定】

現在価値化総便益	519.0億円
走行時間短縮便益	481.6億円
走行経費減少便益	32.4億円
交通事故減少便益	5.0億円

【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	244.5億円
工事費	39.8億円
用地費	194.2億円
維持管理費	10.5億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

【費用便益比(B／C)の算定】

B／C = 2.1

3. 事業の投資効果

定性的効果

<交通>

- 交通渋滞の解消
- 物資流動円滑化への寄与
- バスの定時性
- 迂回交通の減少

<景観>

- 都市景観の向上

<くらし>

- 公共施設へのアクセス向上

<防災>

- 緊急車両の走行
- 災害時の避難路の確保
- 延焼遮断

<安全>

- 交通事故の減少
- バリアフリー化
- 自転車や歩行者のための空間確保

3. 事業の投資効果

定性的効果

＜交通＞ ・交通渋滞の解消

甲州街道をはじめとする周辺道路の交通の円滑化が図られる。



3. 事業の投資効果

定性的効果

- ＜景観＞ ・都市景観の向上
- ＜安全＞ ・自転車や歩行者のための空間確保

環境施設帯や電線共同溝を整備することにより、都市景観の向上や、自転車や歩行者のための空間創出が見込まれる。



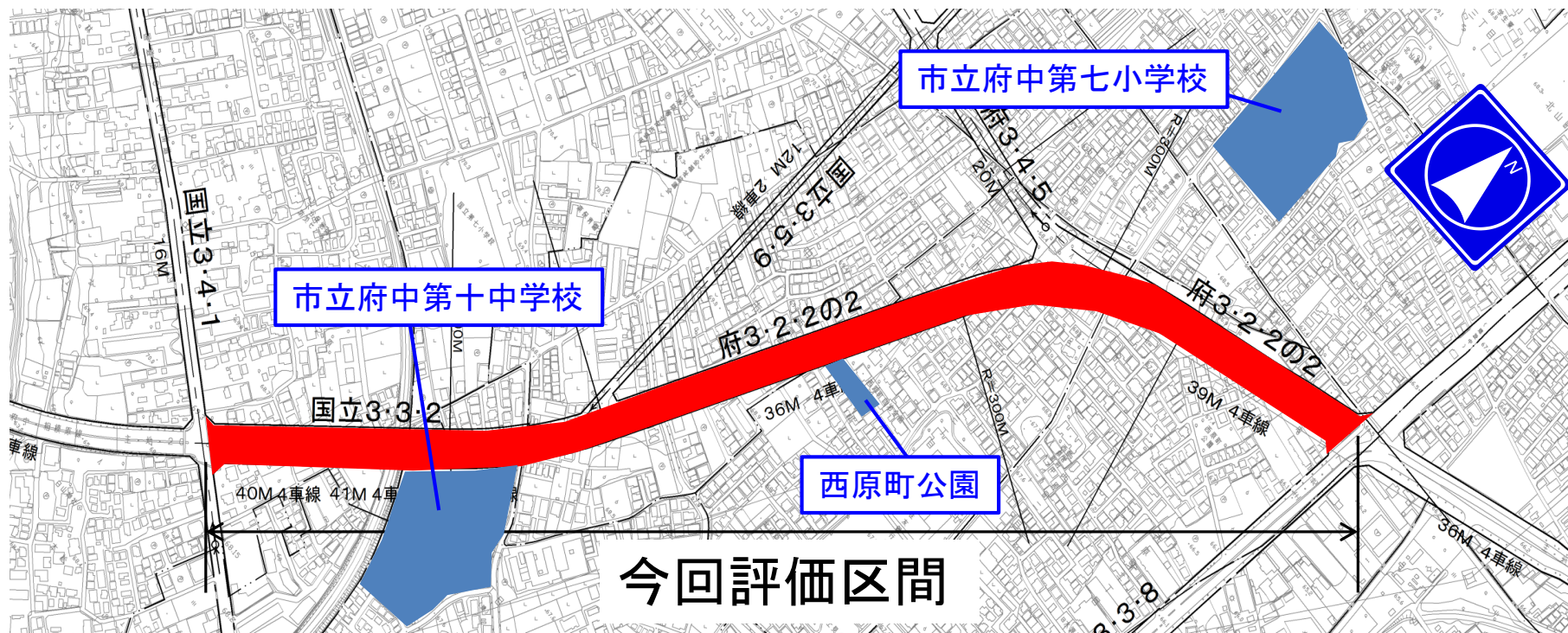
環境施設帯・
無電柱化のイメージ
西東京3・2・6:
幅員36m、歩道幅員10m

3. 事業の投資効果

定性的効果

- ＜くらし＞ ・公共施設へのアクセス向上
- ＜防災＞ ・災害時の避難路の確保

市立府中第十中学校や西原町公園などの公共施設へのアクセス性が向上。
市立府中第十中学校、第七小学校が市の指定避難場所に指定。



4. 事業の進捗状況

事業費の執行状況

(R1年度末時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費	16,137百万円	3,380百万円	19,517百万円
執行済額	15,512百万円	1,803百万円	17,315百万円
執行率	96.1%	53.3%	88.7%

用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
45,600m ²	43,774m ²	96.0%

4. 事業の進捗状況

一定期間を要した背景等

- ・共有私道など**多数の地権者**との用地折衝に時間を要している。
- ・環境施設帯のつくり方検討会や説明会の開催等により、地元の協力を得ながら事業を進めている。

事業の進捗状況・残事業の内容

- ・平成28年度より工事を開始しており、工事搬入路設置や**JR南武線交差部の桁架設が完了**している。
- ・今後、排水管設置工事、電線共同溝設置工事やJR南武線交差部の擁壁設置工事、上部仕上げ工事を進めていく。

4. 事業の進捗状況



桁架設状況の写真



5. 事業の進捗の見込み

今後の事業の進捗見込み

引続き、用地取得を進める。

JR南武線交差部の擁壁設置や上部仕上げ工事を進める。

用地取得箇所より順次、排水管設置工事、電線共同溝設置工事を進める。



跨線橋桁架設状況



用地取得状況

6. コスト縮減等

新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- ・擁壁設置については、コスト比較を行った上、最も経済的なものを採用しており、契約・施工中であるため、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性はない。
- ・一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法の採用等による新たなコスト縮減の可能性は極めて少ない。
- ・平面の街路築造工事であり、工事も進捗していることから、事業手法、施設規模等を見直す可能性はない。

コスト縮減の取組

- ・施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。

7. 対応方針(原案)

- 本路線の整備により、区部の放射第5号線と一体となって、多摩地域と区部の連携の強化や、甲州街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和が図られるとともに、生活道路への通過交通の排除による良好な居住環境の確保や、延焼遮断帯の形成による地域の防災性の向上等の効果が期待できる。
- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。



継 続